



家庭から地域を元気に 令和5年度あったか家族賞表彰式



家事や育児などを家族で協力していたり、ボランティア活動などで地域に貢献していたりする家族を表彰する「四国中央市あったか家族賞」。

2月15日にしこちゅ〜ホールで行われた表彰式で、市内20地区から選ばれた13家族がエピソードとともに紹介されました。そして、受賞された家族

に篠原市長と東教育長から表彰状と記念品が贈られると、会場からも温かい拍手が送られました。

また、今回の表彰式には、川之江高校書道部から「家族への感謝」をテーマにした作品が寄せられたほか、フラダンスチーム「ハーラウ・フラ・オ・ホクラニ」によるフラダンスが披露されました。



三島高校書道部が 大阪・関西万博関連イベントに出演



3月4日、内閣府主催の万博関連イベント「地方創生SDGs国際フォーラム」が東京都で開催されました。地方創生やSDGsの達成に向けて先進的な取り組みを紹介するこのイベントに、三島高校書道部が出演。地域の未来をテーマにした書道パフォーマンスを披露し、その雄姿が全国に配信されました。

書道パフォーマンス甲子園が世界進出 2025大阪・関西万博で大会開催!



ますます盛り上がりを見せる書道パフォーマンス甲子園。今年大会は7月28日(日)開催!

更にこのイベントで「書道パフォーマンス甲子園 in EXPO」の開催が発表されました。まちを盛り上げようとしてきた書道パフォーマンスは、いつしか全国の書道部が目指す大会に発展。そして今度は、日本を代表する文化として、万博のメイン会場で世界に発信されることになりました。なお大会の詳細は、今年12月に発表されます。

未来を描くスーパー文化祭「18っ祭!」 スケールを拡大して開催!



昨年春、高校生たちの手によって誕生した本市の新しいイベント「18っ祭!」。3月10日、会場のしこちゅ〜ホールを余すところなく使って開催された今年の「18っ祭!」は、昨年を上回る盛り上がりを見せました。

このイベントを企画・運営したのは、本市の未来を担う高校生たち。会場には、「帰ってきたくなるまち、未来に続くまちを作りたい」という思いに賛同した、市内の企業や飲食店が数多く軒を連ね、店頭にはコラボ商品も並びました。

大ホールでは、吹奏楽から演劇まで、高校生たちが中心となり、さまざまな催しで会場を盛り上げていました。また、親子で楽しめる巨大な塗り絵や水引体験教室、「映える」フォトスポットも用意されるなど、春の訪れを告げるイベントの、更なる成長が感じられた一日でした。

被災された方の生活再建のために 大王グループ2社が義援金を寄贈



2月22日、県内外でゴルフクラブを運営する株式会社エリエールリゾートゴルフクラブ(寺尾浩司代表取締役社長・写真中央)と、本市でスポーツクラブを運営するエリエールライフ株式会社(同)から、日本赤十字社愛媛県支部四国中央市地区長の篠原市長に、能登半島地震災害義援金が手渡されました。

基幹産業のルーツを知ってほしい 合田勝一さんが絵画を寄贈



2月22日、合田勝一さん(下柏町)から金生公民館に、手漉き和紙職人が描かれた絵画が寄贈されました。この絵画は、合田さんの叔父で手漉き和紙職人の故・森川新太郎氏を、画家の井川莞爾さん(中曾根町)が描いたもの。贈呈式で合田さんは、紙産業のルーツを見て欲しいと話されました。

女性の視点で地域の課題に向き合う 市連合婦人会が活動報告と義援金贈呈



2月26日、市連合婦人会(下司早智子会長)が篠原市長を訪問。子ども食堂の運営や防災マップ製作などの活動状況のほか、長年の活動がたたえられ名誉ある賞が贈られたことなどを報告しました。また、会員から寄せられたウクライナ人道危機救援金と、能登半島地震災害義援金が篠原市長に手渡されました。

地域とともに過ごした45年 川之江荘が御下賜金を拝受



2月23日の天皇誕生日に際して、優良な民間社会福祉施設などに天皇陛下から贈られる御下賜金が、特別養護老人ホーム川之江荘(川之江町長須)に下賜されました。同施設を運営する社会福祉法人福寿会の橋本康子理事長は「今後も地域に必要とされる施設運営を行ってまいります」と述べました。



「NHKのど自慢」で 本市大会優勝者が日本一に輝く

10月29日に本市で開催された「NHKのど自慢」で優勝した西山絵美子さん（今治市）が、2月24日にNHKホールで開催された「グラウンドチャンピオン大会」に出場。並みい



る強豪を破り、見事優勝しました。大会を振り返り「四国中央市で出会った人たちを始め、応援してくれたみなさんのおかげです。感謝で胸がいっぱいです」と話してくれました。



プロバレーボールがやってきた Vリーグ公式戦開催

2月24日から2日間、伊予三島運動公園体育館（中之庄町）でプロバレーボール公式戦が開催されました。試合は、バレーボール教室の開催など、本市と交流のある「近畿クラブスフィード」が、両日とも勝利。プロリーグで磨かれた選手たちのハイレベルな技の応酬に、会場は連日沸き立ちました。

樹齢1200年以上といわれる「下柏の大柏」が、国の天然記念物指定を受けて今年で100周年。3月3日には、大柏が作り出す木漏れ日の中で記念式典が行われ、参列した地域の関係者約50人が、記念すべき節目の年を祝いました。



ちよつとそこまで 広報SAMPO

大柏が作る
木漏れ日の中で
100周年を祝う

市長の ひとりごと

水不足も3月に入つての降雨で、少しは貯水量が増えたかなと思っておりましたが、ダムの実態は見た目にはそれほどではなかった。市民の皆さまに節水をまだまだお願いしなければならぬ姿でした。

私も市長として市議会に議案を提出して審査をお願いしているが、どうしてもお願いしている以上受け身の議論になり、丁々発止というわけにはならない。議員内閣制の国とは違うので、議員の方々は執行権がないから、せめて議論ぐらい自由にやらせて欲しいとなる。だから私の個人的見解は、時間的制約があり抑えざるをえないが、もっともっと活発な議会になればいいのになと思う。しかし、

あと少しで桜開花！

立場ごとの職制からくるしがらみがあり難しい。もう40回以上の市議会を経験しているが、職員のみならずが仕事をやり易くするためには、辛抱第一となる。市長でさえそうなのだから！ね！となる。せめて心だけでも翼があればと思う。

今日は、雨上がりの暖かな五月日和の好日です。私も諸案件抱えているが、自分が心に定めた時節まで頑張ろうと誓っています。

桜の木の枝も、じつと耐えていたつぼみも膨らんできた。大きく枝ぶりが見え始めてきたのである。あともう少し開花まで辛抱しようね！

四国中央市長 篠原 実

富士市×四国中央市 紙のまちランキング「二強」がシンポジウム



3月1日、静岡県富士市で、「製紙産業イノベーション創出シンポジウム」が初開催されました。今回のシンポジウムは、「紙の新たな市場開拓・事業展開に挑む！」をテーマに富士市が主催し、本市が共催したものです。製紙産業における東西の二大産地が初めてタッグを組んだとあって、オンラインを含め、全国から多くの参加者がありました。

シンポジウムでは愛媛大学紙産業イノベーションセンターの内村浩美センター長が基調講演。同センターと共同でCNF連続シート化装置を開発した、川之江造機株式会社の篠原貴裕代表取締役社長と合田真二取締役設計部長がパネルディスカッションや事例発表で登壇するなど、産官学の連携が進められている本市の先進的な取り組みが、全国に紹介されました。



今治精華高校女子バレー部全国へ 本市出身の4人が活躍を誓う

3月8日、本市出身で今治精華高校女子バレー部の4人が篠原市長を表敬訪問。同月26日から東京都で開催される「全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会」への出場を報告し、「練習の成果を発揮し、全員の心を一つにして一つでも多く勝てるよう頑張ります」と活躍を誓いました。

写真左から、利藤瑞記さん（2年）、河村莉希さん（2年）、古堅美衣奈さん（2年）、藤田亜子さん（1年）



有終の美を飾りたい 6年生2人が水泳の全国大会に出場

3月4日、同月26日から東京都で開催される「全国JOCジュニアオリンピックカップ」に出場するエリールスポーツクラブ（村松町）の森下泰明さん（中曾根小6年）と脇菜那さん（金生第二小6年）が篠原市長を表敬訪問。小学校最後の大会で、自己記録を更新し入賞したいと抱負を伝えました。

「炎は大切なものを奪う」 防火ポスターコンクール表彰式



市危険物安全協会（大塚清秋会長）では、市民の火災予防意識の醸成と子どもたちの防災教育の推進を目的に、毎年コンクールを開催しています。2月21日には消防防災センターで表彰式が行われ、全546作品の中から最優秀賞と優秀賞に選ばれた児童3人に、表彰状と記念品が贈られました。

写真左から、最優秀賞村上優珠希さん（三島小3年）、優秀賞今城桜子さん（新宮小3年）、同高橋彩羽さん（松柏小3年）



柳瀬ダム70周年×市発足20周年 小学生が見学会で水の利用を学ぶ

本市の市民生活と産業を支える水瓶の一つである柳瀬ダムは、今年で70周年を迎えます。これを記念して吉野川ダム統合管理事務所と水道局が「水利用を知る見学会」を開催。3月7日には、関川小学校の3・4年生が、ダムや発電所、浄水場、そして大王製紙川之江工場を見学しました。